

障害福祉施設 評価結果一覧表

評価項目	指定管理者自己評価結果	評価機関評価結果
<b>I. 総則</b>		
1. 施設の目的に基づいた基本方針の確立	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針が確立されており、職員が理解しているか。	A
2. 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設目的を達成できているか。	A
3. 従事者の勤務実績・配置状況	管理職を含む常勤従事者及び非常勤従事者の勤務実績、配置状況は適切か。	A
4. 従事者のマナー	利用者が気持ちよく利用できるよう、利用者に対する従事者の接客マナーは適切か。	A
5. 施設の設置目的を実現するために必要な人材の育成・研修	施設の設置目的を実現するために必要な人材を育成する取組がなされているか。	A
6. 人権擁護啓蒙への取組	利用者に対し、不適切な行為が行われないような体制を整えているか。	A
<b>II. 施設・設備の維持管理</b>		
1. 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理され、安全性の確保及び良好な機能の保持が実現されているか。	A
2. 備品の管理	施設の備品が適切に管理されているか。	A
3. 清掃業務、植栽・樹木等の維持管理業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。施設周りの植栽・樹木等が適切に管理され、利用者が快適に過ごせるような良好な景観が保たれているか。	A
4. 整備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	A
5. 施設衛生管理業務	入浴や食事サービスを提供するに当たり、施設の衛生管理や感染症対策を適切に行っているか。	A
<b>III. 運営業務及びサービスの質の向上</b>		
1. 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A
2. 適切な利用情報の提供	すべての利用者が等しく利用情報を得ることができるよう、適切な利用情報の提供を行っているか。	A
3. サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応従事者によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組を行っているか。	A
4. 従事者間での情報共有	従事者間で、適切に各種情報の共有化が実現されているか。	A
5. 個人情報保護	個人情報の保護に対する体制が整っているか。	A
6. 事故防止対策への取組	事故防止のための体制の構築・取組を行っているか。	A
7. 事故発生時の対応体制の構築	事故発生時の対応体制が確立されているか。	A
8. 災害発生時の対応体制の構築	災害発生時の対応体制が確立されているか。	A
9. 利用者の意見・苦情を抽出し、解決する体制の構築	利用者が意見や苦情を述べやすい環境を整備しているか。利用者の意見や苦情を受けて、迅速に対応できる体制を構築しているか。	A
10. 利用者アンケートの実施	サービス全体に対する利用者の満足度を把握し、課題がある場合には対応策を講じているか。	A
11. 各種相談業務	利用者代表からなる利用者会議を開催し、利用者の意見や課題がある場合には対応策を講じているか。	A
12. 虐待防止関係業務(権利擁護業務)	虐待防止に係る各種活動を適切に実施しているか。	A
13. 適切なサービス提供の実施(生活介護事業)	生活介護事業において、適切なサービスを提供しているか。	
14. 適切なサービス提供の実施(児童デイサービス事業)	児童デイサービス事業において、適切なサービスを提供しているか。	
15. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(機能訓練))	自立訓練事業(機能訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	
16. 適切なサービス提供の実施(自立訓練事業(生活訓練))	自立訓練事業(生活訓練)において、適切なサービスを提供しているか。	
17. 適切なサービス提供の実施(就労移行支援事業)	就労移行支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	
18. 適切なサービス提供の実施(就労継続支援事業)	就労継続支援事業において、適切なサービスを提供しているか。	
19. 入浴・排泄に係る介助に適切な実施	入浴・排泄等の解除サービスを適切に実施しているか。	A
20. 食事に係る介助の適切な実施	食事に係る介助サービスを適切に実施しているか。	A
21. ボランティアとの協働	地域のボランティアを発掘し、施設運営に活用しているか。	A
<b>IV. 地域及び地域住民との連携</b>		
1. 地域や地域住民との交流・連携の取組	地域や地域住民との交流・連携に関する取組を実施し、地域交流の支援を実施しているか。	A
<b>V. 収支状況</b>		
1. 管理経費(指定管理料)等の執行状況	管理経費(指定管理料)は適正に執行されているか。	A
2. 収支決算状況	予算と決算に大幅な相違がないか。収入・支出がプラスになっているか。	±0
3. 利用料金収入実績	事業計画書等で示した利用料金収入の目標値がどの程度達成されているか。	99.5%
4. 経費削減の取組	経費削減のための努力を行っているか。	実施

項目	指定管理者自己評価	第三者評価機関特記事項
I. 総則	職員一人ひとりが施設の目的や運営の方針を把握しており、利用者にならぬ関わり・支援がなされている。	幅広い研修を通じて、従事者のスキルアップとサービス水準の向上が図られています。
II. 施設・設備の維持管理	建物・設備等がきれいに保てるよう清掃・管理がしっかりと行っている。	施設・設備について、利用者の安全・安心に配慮したきめ細かな対策が実施されています。
III. 運営業務及びサービスの質の向上	利用者の意見を真摯に受け止め対応している。また、利用者に適した支援が出来るよう職員間での話し合いの場を多く設けている。	意見や苦情等に対して適切な対応がなされており、内容についての情報共有も意識されています。
IV. 地域及び地域住民との連携	地域安全協力者として、子どもひなん所 110 番の家に指定されている。	地域に向けての施設公開や、親子での遊びや情報交換の機会が提供されています。
V. 収支状況	令和4年度は稼働率が目標を下回ったため収入減となったが、コロナ禍も落ち着いたため稼働率が上がることに期待。	稼働率は目標達成には至らないものの目標に近い水準であり、今後更なる稼働率の向上が期待されます。
VI. その他	—	—

評価結果についての講評
利用児の保護者等の意見を聴くことと従事者間の情報共有が実践されており、地域に寄り添った運営がされています。

指定管理者からの意見
今後も利用児と保護者の意見を丁寧に聞き取り、職員で情報を共有し、より良い施設運営に繋がるよう努力いたします。幅広いニーズに応じられるよう、引き続き研修等で職員のスキルアップに努め、皆様に安心して利用いただける施設となるよう取り組んでまいります。指摘のあった箇所については、早急に改善してまいります。